

浜田 会議所だより



HAMADA CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRY



日本遺産
JAPAN HERITAGE

北前船寄港地
外ノ浦
伝統芸能
石見神楽



令和6年新春互礼会を開催

地域経済盛り上げのため英知を結集



出席者を前に新春あいさつを述べる榎山会頭
新年恒例の新春互礼会は、令和6年1月9日(火)に鈴蘭別館において来賓12名と45名の役員・議員の皆さまにご出席いただき、終始和やかな雰囲気の中で開催されました。

冒頭、榎山会頭は能登半島地震で被害に遭われた輪島商工会議所に対して、「昨年から交流を深めた輪島商工会議所が甚大な被害に遭われました。当所としてもまずは、義援金を募り支援していきたいと考えておりますので、会員事業所の皆様にもご協力をお願いします」と義

講演される長谷川支店長
援金協力をお願いを訴えられました。

また、新春互礼会に先立ち、新春講演会として日本銀行松江支店長谷川圭輔様を講師にお招きし、「最近の経済・物価情勢と2024年山陰経済の展望」というテーマでご講演いただきました。

本年も役員・議員の皆さまをはじめ、会員の皆さまには昨年と変わらぬご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 1 P 新春互礼会
- 2 P 島根県知事要望の回答
- 3 P 島根県知事要望の回答
- 4 P 石央商工会との意見交換会
はまだ起業家育成塾、日韓食文化交流会
- 5 P 青年部だより

- 6 P 出張経営相談会、火災共済加入案内
- 7 P 税務署からのお知らせ
- 8 P シーライフ水産特集記事掲載
事業承継支援業務覚書締結及び
マル経創設50周年記念感謝状授与

島根県知事要望(回答)

令和5年9月1日、松江

市内において令和5年度島根県知事を囲む要望懇談会が開催され、島根県商工会議所連合会として、県内8つの商工会議所の要望事項を取りまとめた要望書を県知事に提出しました。

これに対し、島根県より回答がありましたので浜田市に關係する項目について次のおり報告します。
※全体の要望事項については会報10月号に詳細を掲載しています。

▽重要港湾浜田港の機能充実について

【要望】

近年の急速な船舶の大型化には対応できていない状況にあり、1千TEU積みコンテナ船や大型クルーズ船等の寄港が可能となる施設整備が必要となっている。

ついては、圏域の経済活性化を促進するため、早期に大型船に対応した岸壁整備等港湾機能の強化を促進されるようお願いしたい。

また、現在施工中の新北防波堤については、引き続き整備促進をお願いしたい。

【回答】

船舶大型化への対応については、引き続き国に対して整備推進するよう要望していきます。

○新北防波堤については、早期完成に向け整備推進を引き続き国に要望していきます。

▽浜田漁港の機能充実と水産業の振興について

【要望】

漁獲量の確保対策として生産者の維持・増加を図るための新船更新及び購入に

向けた支援や地元漁船の入港誘致を進めるための環境整備として冷凍・冷蔵能力の強化を促進されるようお願いしたい。

また、陸上養殖や海面養殖による新たな水産資源の確保についても事業推進をお願いしたい。

【回答】

○冷凍・冷蔵機能の強化については、関係機関と連携して対応していきます。

○島根県では、新規就業者の確保・育成と漁業の生産性の向上を推進しているところであり、国事業等を活用して高性能漁船を導入する経営体に支援を行うなど浜田市と連携しながら水産業の振興に努めてまいります。

○養殖については、県ではワカメやイワガキ等の無給餌養殖を推進しております。今後も沿岸自営漁業者の所得向上のため、新たな魚種や養殖技術の導入についても検討してまいります。

▽矢原川ダムの事業推進について

【要望】

矢原川ダム事業は、地域住民の安心・安全を確保するとともに、波及効果を含め地域に大きな経済効果が期待されている。

現在、ダム堤体の本格着工に向けた準備工事が着々と進められており、引き続き着実な事業推進をお願いしたい。

【回答】

○矢原川ダムについては、現在、貯水池内の用地買収及び地質調査、解析等を進めています。

○付け替え道路及び工事用道路の整備を進めており、引き続き事業の推進に取り組んでまいります。

▽石央物流団地の規模拡張について

【要望】

山陰自動車道の開通に伴

せ、県西部の産業振興及び経済発展を見据えた物流拠点として更に機能強化を図るため、第2期約21haの敷地造成についても主体となつて整備促進いただくようお願いしたい。

【回答】

○運送事業者の経営戦略の中で、1箇所が集まること

が更なる効率化に繋がると考えられるのであれば、そうした運送事業者が連携して、拠点の場所や規模、その整備手法を検討されることが必要だと考えます。その上で、運送事業者の声を踏まえて、まずは地元自治体や経済団体において地域の産業振興施策としてご検討いただきたいと思います。

▽浜田海上保安部の機能強化について

【要望】

浜田港のさらなる利活用促進のため、巡視船等の増強など、浜田海上保安部の

機能強化に向けて島根県と浜田市が一体となつて関係機関へ働きかけをお願いしたい。

【回答】

○令和5年4月26日に、巡視船の増強など浜田海上保安部の機能強化について、浜田市と一緒に、海上保安庁長官及び国土交通大臣政務官に要望したところで、また、先般、県の重点要望においても、国に働きかけるところです。浜田海上保安部の機能強化の実現に向けて、県としても引き続き要望してまいります。

▽浜田港への海上自衛隊艦艇の物資補給基地誘致に向けた支援について

【要望】

海上自衛隊艦艇の浜田港寄港は、市民にとっての大きな安心と物資の補給などによる大きな経済効果が期待されている。

ついては、海上自衛隊艦

艇の物資補給基地の誘致に向け、引き続き島根県と浜田市が一体となって関係機関へ働きかけをお願いしたい。

【回答】

○物資補給基地の誘致には、自衛隊の人員や施設等の体制整備が国において検討される必要がありますが、当面は自衛隊の浜田港利用が

更に進むよう、寄港などの実績を積み重ねて行くことが重要であります。このため、県の重点要望においては、県内における自衛隊の配備体制の充実や日本海側の警戒態勢の強化に向けた

自衛隊艦船の浜田港など県内への寄港回数を増加させることについて要望しており、引き続き、国に働きかけてまいります。

▽石見神楽伝承館の建設について

【要望】

日本遺産に認定された石

見神楽は、島根県西部4市5町で継承されている伝統芸能で当地域を代表する観光資源である。石見神楽の学術的な保存、伝統芸能の伝承及び全国に向けて発信していくためには、定期的な公演や認知度を高める施設の建設についてご検討をお願いしたい。

また、石見神楽の認知度向上による石見地域への誘客促進については、首都圏及び令和7年の大阪・関西万博を見据えた関西圏でのプロモーション・誘客対策を強化いただきたい。

【回答】

○石見神楽に関する施設の建設については、有福温泉での国の補助金を活用した体験施設整備に対して県は市と協調して支援を行いましたが、まずは地元において、国の補助金等の活用や、既存の公演施設の有効活用をご検討ください。

○石見神楽の認知度向上に

よる誘客促進については、県も参画する石見観光振興協議会を中心に、WEBやSNS等による情報発信や、舞台俳優等とタイアップした神楽プロモーション等を実施します。また9月から11月の「石見の神楽在月」の期間にキャンペーン等を実施しながら情報発信を強化してまいります。



会員増強にご協力ください

年会費 法人事業所 11,000円 個人事業所 6,600円

入会のメリット

- 経営改善、経営安定、資金繰り、創業のお手伝いをいたします。
- あなたの経営課題に対して専門家を派遣し、アドバイスを行います。
- 金融に関する情報や推薦が受けられます。
- 各種販売促進事業の情報提供及び参加ができます。
- 事業に役立つ情報が掲載される会議所会報が届きます。
- 労災・雇用保険事務の簡略化及び、事業主の特別加入ができます。
- 各種共済制度（生命共済・特定退職金等）へ加入ができます。

【問い合わせ先】 浜田商工会議所 TEL：0855-22-3025 ホームページ：http://www.hamada-cci.or.jp/

浜田市共通商品券をギフトにご活用ください！



<ご購入場所>

浜田商工会議所または販売店にてご購入いただけます。

浜田市・石中央商工会との意見交換会

令和5年12月25日(月)にホテル松尾において浜田市と石中央商工会との意見交換会が開催されました。前回の開催は令和2年2月に開催されましたが、それ以降は新型コロナウイルス感染症の流行拡大により延期となり、今回は約4年ぶりの開催となりました。

浜田市からは久保田市長はじめ3名のご参加を頂き、石中央商工会からは田中会長はじめ4名、当所からは榎山会長はじめ7名の参加の下開催されました。意見交換会では、石中央商工会からは首都圏における販路開拓支援事業についてと特産品PR及び販路開拓支援事業についての事業説明があり、当所からはビジネスフェア中四国2024の開催についてと起業支援プロジェクトにつ

いて事業説明を行い、浜田市からはプレミアム付「はまだ応援チケット(第3弾)」についての実績報告があり、事業の内容や実施状況についてそれぞれ意見交換を行いました。

はまだ 起業家育成塾

当所は引き続き、浜田市や石中央商工会と連携を密に取りながら浜田市圏域の経済発展や会員企業の手助けとなるように努めてまいります。

令和5年12月2日(土)、浜田市まちなか交流プラザで「はまだ起業家育成塾(浜田市・石中央商工会・浜田商工会議所共催)」のビジネスプラン発表会が行われました。

これは、昨年10月から「基礎編」として2回、「ビジネスプラン作成編」として5回の計7回のカリキュラムを用意し、受講者21名のう



ち最終回に参加された7名が自身で作成した渾身のビジネスプランを披露しました。

講師には、「創業塾専任講師」として全国トップクラスの支援実績を有する浜田市出身の井野口氏(株)インキュベーション&リポート代表取締役)を招き、培われてきた豊富な経営ノウハウをもとにした熱のこもったアドバイスをいただきました。

当所は、引き続き市や商工団体と連携し、創業の気運を高め、新たな働き場の創出を図るとともに地域資源の活用や地域課題を解決すべく、次世代を担う起業家の方々の育成支援に取り組んでまいります。

講師には、ミヨンスクハングル友の会代表の福島明淑氏を招き、食を通してお隣韓国の文化に触れてもらおうと、韓国の家庭料理(チャプチェ・餅餃子スープ・串チヂミ)に挑戦しました。当日は24名の方に参加いただき、初めての参加、複数回参加の方様々でしたが講師からのレク

日韓 食文化交流会

令和6年1月20日(土)、浜田市総合福祉センターで日韓食文化交流会を開催しました。この催しは、浜田

商工会議所が事務局を担う石中央地区日韓親善協会が主催しており、26回目を迎えた今回は24名が参加されました。



石中央地区日韓親善協会では、今後も日韓両国の文化、経済、教育等の交流を通じて両国民の理解と親善を深める活動を続けてまいります。

「韓国留学時代を思い出しました。」「韓国に行ったことがないので今年こそは本場の料理を食べに行きたい」等の感想をいただきました。

「椅子を受けながら楽しく協力しながら挑戦しました。参加いただいた方からは「普段作っている料理とは違い、本格的な韓国料理に大満足しました。」「今日の料理を食べて韓国留学時代を思い出しました。」「韓国に行ったことがないので今年こそは本場の料理を食べに行きたい」等の感想をいただきました。

\\ お店のチラシ、折り込みませんか? //

浜田商工会議所では毎月15日(8月、12月を除く)に『商工会議所だより』を発行し、全会員事業所、官公庁を含めた、約1,200ヶ所に配布しています。

キャンペーンや催事に合わせて、お店のチラシを折り込み(有料)、『商工会議所だより』を有効活用してみませんか?

<チラシ折込のご相談は、浜田商工会議所 TEL:0855-22-3025 まで>

SEINENBU DAYORI

[浜田商工会議所 青年部だより - 2月号 -]

事務局：〒697-0027 鳥根県浜田市殿町124-2 TEL.0855-22-3025 FAX.0855-22-5400 E-mail: yeg@hamada-cci.or.jp

 浜田YEG



益田YEGPRキャラバン隊と浜田YEG (西元県連会長・尾村会長・廣瀬副会長)

意見を出し合いストロータワーを作成するメンバー

1月例会について

総務委員会 委員長 原田 和弘

令和6年1月19日(金)に浜田商工会議所新会館3階会議室にて、令和5年度1月新年例会を行いました。

まず初めに、三井住友海上の方からSDGsについて講和をいただき、令和6年8月30日～31日に行われる【日本商工会議所青年部 第42回中国ブロック大会 益田大会】のPRを益田YEGキャラバン隊のメンバー様によるブロック大会への意気込みを語っていただきました。

続いて、チームビルディングゲームをしました。急遽ではあったのですが益田YEGの方々も参加して頂いた

だき4チームに分かれストロータワーを行い、チームの共通のゴールを目指すことでチームワークの重要性・多様な意見の尊重・それぞれの役割や気づき等を体験できたと思います。今後、各企業での組織においてビジョンの共有並びに組織内でのイノベーションを起こす人材を増やす糸口にしていただけたのではないのでしょうか。

これからも委員会等で皆様の意見を尊重しつつ頑張っていきたいと思っております。



浜田商工会議所 青年部 会員募集

浜田商工会議所・会員事業所の経営者およびそれに準ずる、「若き地域経済人」で構成される青年団体です。個々の資質向上は元より、自企業の発展を目指し、浜田市の商工業の発展を図ることを目的としています。

■入会資格 「浜田商工会議所 会員事業所」の満49才未満の若手経営者、もしくはそれに準ずる方。

■年会費 36,000円

■問い合わせ

浜田商工会議所 青年部事務局
〒697-0027 浜田市殿町124-2
tel.0855-22-3025 fax.0855-22-5400
mail: yeg@hamada-cci.or.jp

浜田YEGホームページ
<http://www.hamada-cci.or.jp/yeg/>



会議所出張経営相談会のお知らせ

「相談したいことがあっても、商工会議所までは遠くて行く時間がない・・・」
 そんな遠方の事業者様・創業希望者様の利便性向上を図るために、各会場で経営相談会を実施しております。
 当日は、経営指導員が「金融や税務相談」、「補助金のご紹介」等をさせていただきます。
 当所までお越しいただく手間を省けますので、どうぞご利用ください。

出張経営相談会スケジュール

日程	場所	時間
3月18日(月)	浜田まちづくりセンター	13:30～15:30

〈問い合わせ先〉 浜田商工会議所 中小企業相談所 TEL: 0855-22-3025 FAX: 0855-22-5400

～幅広い補償で、もしもの時の安心をご提供する～

火災共済 ご加入のご案内

●店舗、事務所などへの補償には・・・

普通火災共済 (補償範囲①～④)

総合火災共済 (補償範囲①～⑨)

①火災 ②落雷 ③破裂、爆発 ④風、雹、雪災(建物、家財等に20万円以上の損害が生じたとき) ⑤水災 ⑥物体の落下、飛来、衝突 ⑦水ぬれ ⑧騒じょう ⑨盗難

●住宅、家財への補償には・・・

新総合火災共済

Aタイプ～Dタイプの4つの契約プランからニーズに合った補償をお選びいただけます。
 ※専用住宅、併用住宅が補償対象。

+ 上記の基本補償に特約をプラスしてより充実した補償に！〔一例〕

類焼見舞金補償特約

特約掛金

一律年間掛金

1,500円

ご自分の家やお店が火事になってお隣やご近所が類焼してしまった場合に、類焼先に見舞金をお支払いします。

※見舞金の額は一つの建物(建物内収容動産含む)ごとに300万円を限度にお支払いします。



●長期年払割引(口座振替限定で割引)を新設しました

●専用住宅の掛金例：所在地/島根県

建物(木造) 1,000万円 ⇒ 12,800円/年間

●築浅割引(築20年未満の建物で最大60%割引)も新設し、割引制度が充実!

お問合せ、パンフレットのご請求は… 浜田商工会議所(代理所) TEL.0855-22-3025

島根県火災共済協同組合 0120-75-0249

令和5年分

確定申告



スマホ×マイナンバーカード

e-Taxが便利!

「浜田税務署」では

入場整理券が必要!

会場への入場には「入場整理券」が必要です。

* 「入場整理券」の配付状況に応じて、後日の来署をお願いすることがございます。

① **入場整理券は、会場で当日配付。**

② **LINEから事前発行ができます。**

* 国税庁LINE公式アカウントを友だち追加してください。

* 令和6年2月6日から運用開始



友だち追加は
こちらから!



申告会場の開設日程

期間

令和6年2月16日(金)から
令和6年4月1日(月)まで

場所

「浜田税務署」2階相談会場
浜田市殿町1177番

申告納税

所得税および 復興特別所得税・贈与税	令和6年	3月15日(金)まで
消費税および 地方消費税(個人事業者)	令和6年	4月1日(月)まで

※令和6年3月15日(金)まで



確定申告に関する
質問はAIチャットボットの
『ふたば』にご相談ください。

税務担当ふたば



所得税・消費税の納税は「振替納税」で!

- ・ 初回のみ「振替依頼書」を提出するだけ!
- ・ 振替日に預貯金口座から自動で引き落とし!
- ・ 毎年継続して利用可能!
- ・ オンライン(スマホ)から提出可能!

振替納税についてはこちら



スマホからの提出方法についてはこちら



電子帳簿保存法 電子取引データの保存方法をご確認ください!

詳しくは!

帳簿・書類を
保存する義務
のある方

請求書・領収書などに相当する電子データ
をやり取りした場合は、その電子データ
(電子取引データ)を保存しなければ
なりません

必要なこと!

- ・ 改ざん防止措置
- ・ 「日付・金額・取引先」
で検索可能
- ・ ディスプレイやプリン
ターの備え付け



電子帳簿等保存
制度特設サイト

日本商工会議所発行「月刊石垣」に (株)シーライフ水産特集記事掲載



掲載雑誌「月刊石垣」と特集記事表紙



イチオシ商品「のどぐろ干物缶 塩仕立て」

当所会員である株式会社シーライフ（所在：浜田市原井町・河上清志代表取締役）が日本商工会議所が発行するビジネス情報誌「月刊石垣」の〔特集1、日本産水産物を世界へ売り出せ〕にて特集記事が掲載されました。

同社は、2006年創業、2009年法人成りし、島根県浜田市にて水産物の干物や缶詰などを製造・販売しています。2018年から主力商品の一つである缶詰事業を開始し、ジェトロや市の支援を受けて、ご当地の高級魚・ノドグロを使った加工品の海外展開にも乗り出し、着々と販路を広げています。

記事中では、希少性の高い高級魚・ノドグロを扱う経緯や海外への輸出、特にアジア圏に販路を定めるに至った経緯や今後の展望などが掲載されています。

インタビューを受けられた同社専務の河上清貴さんは、「干物などの国内需要が減少してきている中、海外でも希少性の高いノドグロを売り込み、輸出において同社売上の全体10%までは伸ばしていきたい。また、魚を家で食べなくなってきた現代社会において、時代に合った商品を考えていかななくてはならない。いかに手に取ってもらえるかを考え、新しい需要の掘り起こしなどチャレンジしていきたい」と述べられました。

同社商品には、シリーズ累計6万缶を超える人気のノドグロの缶詰、未利用魚を有効に活用した水煮缶シリーズ「今朝の浜」やノドグロ、アジなど各種干物も取扱っています。河上専務イチオシ商品の「のどぐろ干物缶 塩仕立て」を掲載しています。是非、お買い求めください。

日本政策金融公庫と事業承継支援業務覚書を締結



事業承継支援業務覚書締結

令和5年11月14日、浜田商工会議所会頭室にて事業承継支援業務覚書締結及びマル経創設50周年記念感謝状授与が行われました。

日本政策金融公庫との事業承継支援業務について榎山会頭と馬場支店長がそれぞれの覚書に署名され、締結されました。これは日本政策金融公庫浜田支店と浜田商工会議所が地域における事業承継支援に係る連携を円滑に行い、相互に協力し、地域経済の活性化の促進を図ることを目的に令和5年11月14日～令和6年3月末日（業務支援が終了するまでは1年間毎更新）までの期間で締結しています。

また、覚書締結に先立ち、日本政策金融公庫馬場支店長から当所榎山会頭にマル経創設50周年を記念した感謝状の授与が行われ、感謝状を贈るとともに感謝を述べられました。

当所は引き続き、日本政策金融公庫と連携を密に取りながら融資取引や事業承継支援業務に取り組んでまいります。